

## 事業計画書

事業名	沼津ハイポートが沼津を盛り上げます！
実施場所	沼津中央公園
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2024年6月1日～2025年3月31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

体育祭をメインに、文化祭の要素も融合させたイベントであり、中高生を中心として老若男女問わず楽しめる企画を中央公園で用意しています。簡単なスポーツで体を動かした後は、キッチンカーでおいしいご飯やスイーツも食べることができます。また、このイベントを機に市内の高校の屋の放送を用いて市内のイベント情報などを発信する「ラジオ沼津ハイポート」も始動させます。

## ◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

沼津市内の高校に通う高校生たちの力で、本事業を実施し、自分たちが住み・学ぶ「沼津を元気に」します。また、多くの方々に「沼津市内への誇りと愛着」を抱いてもらいます。1番の目的は体育祭を通じて楽しんでもらい、沼津のさらなる活性化に貢献することです。

ラジオ沼津ハイポートではイベント情報を発信することで、より多くの高校生にイベントに参加してもらい、様々なイベントを盛り上げてもらうことで、沼津全体が盛り上がることを目指します。

## ◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
ハイフェス 4月から	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。  毎週日曜日、9時から12時までプラサヴェルデの会議室で会議を行う。 メンバーの役割分担、班分け（広報、キッチンカー、景品、道具など） 中央公園を押さえる（仮予約済）
5月	ハイポートのInstagramを使って告知を本格的にスタートする 種目、ルールなどの確定 イベントで使用する道具などの手配 景品の手配（飲食店などに協賛していただく） キッチンカーなどに来店をお願いする チラシ、ポスターのデザイン完成

6月	チラシ印刷 1万3千部 →市内の小中学生に一人一枚配布、高校にはひとクラス一枚 イベントの広報 - 市内のお店、掲示板、バスなどにポスター掲示を依頼 公園レイアウトの確認
7月	各部門最終確認
14日	<u>イベント本番</u> 「ハイフェス～ [ハイ] は沼津を救う～」 当日は人工芝が敷かれている沼津中央公園で400人ほどの来場者を見込んでいる。イベントは朝の10時から午後の15時までを予定している。主に中高生の来場者が競技に参加し、リストバンドが配られて2チームに分けられる。競技はドッジビー、しっぽとり、偏見借り人競争、鬼ごっこ、n <sup>2</sup> マスおにごっこ、気配斬り、ヨガ、沼津愛を叫ぶ選手権、スリッパ飛ばし、けんけんぱじゃんけんがあり、参加者は希望する競技に参加することができる。種目ごとにチーム対抗で競い、点数をつけて最終的にチームの勝敗を決める。来場者全員に参加賞が用意されており、各種目の勝者にも商品が送られる。最後には各チームから一人ずつMVPが選ばれる。 会場にはキッチンカー7台に来ていただき、来場者はそこでお昼ご飯や軽食を食べることができる。 気温と湿度が高くなることが予想されるが、熱中症対策としてはミストを散布し、会場では常に誰でも飲むことのできる冷たい水を常時設置する。休憩スペースには日陰も確保し、来場者がいつでも休憩をとれるようにする。緊急事態のために救護テントも設置し、そこでは常に看護師が待機する。 荒天中止だが、可能な限りは開催予定。  イベントの振り返り
ラジオ 4月	メンバーが在籍する高校に「ラジオ沼津ハイポート」の放送許可をとる 放送開始(隔週原則火曜日放送、収録は毎週日曜日の定例の会議で行う。) 「ラジオ沼津ハイポート」、略して「ラジポート」は沼津ハイポートが収録し、沼津市内の高校のお昼の校内放送を用いて放送する。ラジオの内容は主に沼津市内で開催される、高校生が興味を持つイベント情報。その他にも市内の話題やハイポートの活動なども紹介する。
6月～3月	継続的に月に2回収録と放送を行い、徐々に放送する校数を増やしていく。

### ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済の活性化: イベントによる観光客の増加や関連産業の活性化が見込まれる。</li> <li>・地域コミュニティの強化: 地域住民の交流が期待できる。</li> <li>・スポーツ振興: イベントを通して、健康意識の向上やスポーツの普及促進が期待できる。</li> <li>・地域活性化: 地域の魅力向上や活動の多様化により、若者の地域への定着や経済の活気づく環境作りに寄与できる</li> </ul>			
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 ハイフェス 1. 来場者数の目標: 400人	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。 1. 入場者全員にリストバンドを配るため、消費したリストバンドの数を数える。

	<p>ラジオ沼津ハイポート</p> <p>1. アンケートで面白かった、という回答を 50%以上。</p> <p>2. 沼津市内の高校 6 校以上で放送</p>	<p>1. ラジオを放送している高校でデジタルのアンケートに回答してもらう。</p> <p>2. 放送している校数を数える</p>
--	--	---

**◎評価の視点に合致していることの説明** ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>社会的 必要性</p>	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。 沼津には高校の数が多く、高校生が多いため、活気ある高校生がまちづくり活動に参加し、沼津を盛り上げる必要がある。 高校卒業後沼津を出て戻ってこない若者が多い中、中高生を主に「沼津」を意識してもらうきっかけ作りが必要で、このイベントが一つのきっかけとなる。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 沼津市内の高校生が企画・運営するイベントであり、若者の地元への愛着がない、という問題にアプローチできる。 若者が盛り上がることで、地域全体の活気へもつながる。特に駅の南口エリアは大きな商業施設がある北口エリアと比べて若者の関心が薄いため、多くの中高生に南口エリアの魅力を知ってもらい、盛り上げてもらう。</p>
<p>独創性</p>	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 私たち高校生がゼロから自らの力で企画を考え、計画をし、実行をするイベントである。このような高校生がすべて企画・運営するイベントは全国的にも希少であり、多くの課題にぶつかりながらも、メンバーで話し合いイベント開催に向かって一丸となって取り組んでいる。</p>
<p>実現性</p>	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 沼津ハイポートは昨年市制 100 周年記念市民提案事業「100sai 祭 in NUMA SUMMER」というイベントを企画し実現させたため、今年のイベントも実現可能だと考えている。また、昨年からの反省点や学びをこのイベントで生かすこともできる。 高校生が主となって活動しているものの、大人の方からもサポートをいただいております。沼津市役所教育委員会事務局生涯学習課にもサポートいただいている。</p>
<p>発展性</p>	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 沼津ハイポートは新メンバーを常時受け入れており、新しいメンバーが加わるたびに知識や人脈の幅が広がり、運営体制が強化される。 また、学生団体であることから、メンバーは数年で卒業してしまうが、書類などの資料をしっかりと後輩に手渡し、OB・OG のメンバーのサポートなどにもよって知識や経験を受け継ぎ、発展していく。 他の高校生にも自分たちから何かを生み出して沼津を盛り上げることに貢献できることを知ってもらい、このイベントを機により多くの若者にまちづくりに関するイベントや事業に参加してもらう。</p>

**◎次年度以降の活動予定**

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または 2 回目の応募で、助成の継続（最大 3 年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p>
---

**◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）**

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。